



10月にボールウォーキングの講習会を開催。先頭は中島自治会長(上)。毎週金曜日の朝は「ころつえ」の前でラジオ体操のイベントを開催。もちろん、大倉さんも参加して、高齢者との絆を深める(下)



高齢者を孤立させない

〈大谷田の見守り電話・訪問〉



毎週1回、高齢者の安否確認のため「あんしんコール」の電話をかけるのも大倉さんの大切な仕事(上)。「ころつえ」の相談員の梅澤さん(写真左)と緊密に連携することで、高齢者支援の充実が図られている(下)



家が相談員として常駐している。相談員の梅澤京子さんは保健師だ。UR都市機構は足立区と連携して、「ころつえ」の運営に参加協力。生活支援アドバイザーの大倉さんは、「ころつえ」の梅澤さんとともに相談員も務めている。生活支援アドバイザーとは、UR都市機構が、高齢者の生活を支援する目的で委託し、現在、全国39団地に配置しているスタッフ。業務は、高齢者が抱える問題をヒアリングし、相談内容に応じて地

方公共団体などの適切な福祉窓口につなぐことや、高齢者交流イベントの開催を通じて、地域コミュニティの形成をサポートすることなどである。そのほか重要な業務として、登録した高齢者に週1回、電話で安否確認をする「あんしんコール」がある。大谷田一丁目団地でも大倉さんが「あんしんコール」を行っているが、「ころつえ」と連携することで、月1回、直接顔を合わせる「見守り訪問」も実現した。「生活支援アドバイザーだけでは、見守り訪問まで手が回りませんでした。「ころつえ」との連携で顔を見て話す機会ができて、健康状態などがよりはっきりつかめるようになりました」(大倉さん)。

「団地内に生活支援アドバイザーがいて、「ころつえ」があることで見守りが充実し、さらに地域とのつながりも深まることで高齢者の安心感が増えています」と中島自治会長。大倉さんは語る。「生活支援アドバイザーだけではとてもここまで「ころつえ」と力を合わせて、高齢者が孤立しないような団地にしたいですね」

高齢者の交流の場が広がる

大倉さんは、見守りをよりスムーズに行うために、高齢者と触れ合う機会を増やしている。例えば、毎週金曜日の朝、団地内の広場で開催しているラジオ体操。高齢者向けの無理のない約30分の運動だ。当初は数人だった参加者が、今では50人近くに。続々と集

超高齢社会に向けて

安心して住み続けることができる 住まい・コミュニティを創造

UR都市機構では、超高齢社会の到来を前に、地方公共団体や民間事業者などと連携しながら、最期まで安心して住み続けることができる住まい・コミュニティを作り上げるため、多様な取り組みを始めている。その現状と、目指している将来像を紹介する。

★以外の写真=中村 晃 取材・文=船木麻里、本誌

大倉さん(一番右)と梅澤さん(一番左)は、ボランティアの助けも借りながら、約50人の高齢者の住戸を毎月1回訪問する

PART 1

大谷田一丁目団地(東京・足立区)※1

生活支援アドバイザーが 地方公共団体と連携して見守りを実施

「こんにちは。月イチ訪問です。東京都足立区の大谷田一丁目団地の廊下に、UR都市機構生活支援アドバイザー、大倉公子さんの明るい声が響く。それに応え、80歳代の柴田正夫さん、葉津子さん夫婦が玄関ドアを開けて、笑顔で迎えた。「苦勞さま。毎月ありがとう。変わりなく元気になってますよ」。大倉さんは毎月1回、団地内の高齢者の住居を1軒1軒訪ねて、安否を確認し、近況や健康状態を確認している。

こうして来て声を掛けてくれるのは非常にありがたい」とにこやかに応じた。葉津子さんも「引越してきて間もないので知り合いも多くはないの。顔を見に来てくれる方がいると心強いわ」と話した。

見守り電話に加え訪問も

正夫さんは団地で行われたスキーマのストックのような専用ポールを使って歩くボールウォーキングの講習会に参加。早速、専用ポールを購入していた。それを玄関で目にした大倉さん。「すごい行動力!と褒めた。「私は頑張ってるよ!と褒めているけど、女房は足が悪くなってあまり歩けないから、

1977年に入居が始まった大谷田一丁目団地の総戸数は1374戸。「現在団地には、60歳以上の高齢者が約1000人暮らしています。そのうちのおよそ4人に1人が一人暮らしです」(自治会長の中島省吾さん)。

高齢者の増加を受けて足立区は2011年、団地内に、「ころつえ」シニア相談所(以下「ころつえ」)を設置した。ころばぬ先の杖(つえ)を設置した。高齢者が安心して暮らせるように支援する相談窓口だ。そこには社会福祉の専門

まる高齢者を、スポーツウエアに着替え大倉さんはハイタッチで迎える。「知り合いが増えて、あいさつを交わすようになった」終わってからお友だちとお茶に行くのが楽しい」と参加者の声。「この場をきっかけにカラオケに行ったり、井戸端会議をしたりと高齢者の交流の輪が広がってきています。うれしいですね」(大倉さん)。

※1 大谷田一丁目団地: JR常磐線(東京外口千代田線直通)「亀有」駅徒歩18分、またはバス3分徒歩1分